

研究発表

印象記

南川整形外科病院 理学療法士 鶴田 崇

第12回身体運動制御アプローチ研究会に参加して



年明けの寒さが厳しくなってきた頃、第12回 身体運動制御アプローチ研究会で発表してきました。本研究会は、当院でもプロスポーツ選手や患者さんに提供している「入谷式足底板」を作製している全国のセラピストが集い、討論する会です。

今回は、「入谷式足底板」を作製するうえで欠かせない、仙骨と腸骨(骨盤)の徒手誘導を応用して、寝る態勢を無意識に調整し、全身のストレスを軽減する方法を考案したので発表してきました。本法をセラピストが利用して患者さんに提供すれば、リラクゼーション不良による睡眠不足や夜間時痛に悩んでいる患者さんに対する治療の一助になれると思います。